以下において、$n \in \mathbb{N}$;$E \in F_3$;$Y \in F_{2,n}$;$Z \in F_{4,n}$;$x \in N_{01}$;$r \in \mathbb{SO}(3)$;
$\Lambda \in \mathbb{L}^{\updownarrow}$;$v \in \mathbb{R}(3)$;$a, \alpha, \beta \in \mathbb{R}(2)$;$p \in \mathbb{P}_n$ とする。

座標変換

①表2-1型の理論に対する同時性を保つ変換：

以下の手順で定まるT, 干, Vについては、

$$\mathscr{H}_{干}=\mathscr{H}_{T}\ ,\ \mathscr{F}_{干}=\mathscr{F}_{T}\ ,\ \mathscr{M}_{干}V=\mathscr{M}_{T}\ ,\ \mathscr{L}_{干}V=\mathscr{L}_{T}$$

が成り立ち、かつTの自然の固定的な部分の歴史と干の自然の固定的な部分の歴史とは同じだ。Vは$\mathscr{F}_{T}$から$\mathscr{F}_{干}$の上への一対一写像になる。

【手順１】$A_1 \in N_{01}(N_{01})$, $A_2 \in F_{\hat{3}}(F_{\hat{3}})$, $A_3 \in \mathbb{R}_+(\mathbb{R}_+)$, $A_4 \in \mathbb{R}(\mathbb{R})$,
$p \in \mathbb{P}_n$, $[\![\exists f \in \mathbb{R}(\mathbb{R});\forall \xi \in N_{01};[A_1(\xi)](4)=f(\xi(4))]\!]$,
(A_1, A_2, A_3, A_4はいずれも一対一上へのであること)
という条件を満たす範囲内でA_1, A_2, A_3, A_4, pを勝手に定める。

【手順２】$E'=[V_3(A_1, A_2)](E)$, $Z'=[V_{4,n}(A_1, A_2, 1)](Z)$によって$E', Z'$を定める。
さらに$\forall i \in \{1, \cdots, n\}$;[$P_i$を$P'_{p(i)}$とも書く]ことにする。

【手順３】表2-1の任意の一つの行を選びT, 干, Vを定める。

②表2-1型の理論に対するローレンツ変換：

以下の手順で定まるT, 干, V, Fについては、

$$\mathscr{F}_{干}=\mathscr{F}_{T}\supset F\ ,\ \mathscr{M}_{干}(F)\circ V=\mathscr{M}_{T}(F)\ ,\ \mathscr{L}_{干}(F)\circ V=\mathscr{L}_{T}(F)\ ,$$
$$\mathscr{H}_{干}\supset\{\mathscr{M}_{干}(f)\,|\,f\in F\}=\{\mathscr{M}_{T}(f)\,|\,f\in F\}\subset\mathscr{H}_{T}$$

が成り立ち、かつTの自然の固定的な部分の歴史と干の自然の固定的な部分の歴史とはh_0が絡む部分のみ異なる。VはFからFの上への一対一写像になる。

【手順１】表2-4のローレンツ変換の行よりA_1, A_2, A_3, A_4, pを定める。

【手順２】$E'=[V_3(A_1, A_2)](E)$, $Z'=[V_{4,n}(A_1, A_2, 1)](Z)$によって$E', Z'$を定める。
さらに$\forall i \in \{1, \cdots, n\}$;[$P_i$を$P'_{p(i)}$とも書く]ことにする。